

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (中国)	良くなる	自動車備品販売店（経営者）	・季節商材の需要が高まる。
		競艇場（職員）	・11月に開催するG1競争で収益が多く見込める。
	やや良くなる	百貨店（営業担当）	・近隣のアウトレットモールや大型商業施設の影響で大きく売上を落としていたが、大型テナントの売上がわずかに回復の兆しがある。アウトレットモールの開業から約1年経過したこともあり、徐々に影響が薄らいできている。
		百貨店（営業担当）	・気温の低下に伴って秋物衣料の稼動も高まってくる。
		コンビニ（エリア担当）	・100円ぐらいのケーキの売行きが好調で、今後も売上は期待できる。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・秋冬に関してスーツの需要が見込める。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・大河ドラマの影響が出始める。
		その他専門店〔海産物〕（経営者）	・今から2、3か月後は、観光海産物店にとって一番売上も客も増える月で、今より確実に来客数、売上ともに良くなる。ただ例年とも比較は不透明である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊では年末に向け、大河ドラマの効果が少し期待できる。
		通信会社（総務担当）	・新商品の販売開始並びにPR展開により、販売増に期待できる。
		通信会社（広報担当）	・新商品発売の影響が期待できる。
		通信会社（営業担当）	・新機種が発売で携帯市場が活性化してきていることに加え、2012年冬モデルの登場や冬キャンペーン等もあり、かなり市場がにぎわいをみせて販売数増加が予想される。
		通信会社（工事担当）	・閑散期が終わり今後需要期に入るため、期待も込めて上向くと思われる。
		テーマパーク（業務担当）	・ガソリン価格が高止まり傾向にあり、自家用車利用の割合が高い当施設にとっては楽観できない状況が続くが、冬のイルミネーションイベント等の期待が持てる。
	その他レジャー施設（アミューズメント）	・映画館で期待できる公開作品があるため、影響を受けて当店への来客数増に少し期待が持てる。ただ家族客・若者客ともに娯楽への大幅な出費増は期待できない。	
	設計事務所（経営者）	・消費税増税が決まり、住宅などの工事に駆け込み需要が期待され、これから政治の変化とともに動きが出てくる。	
	変わらない	商店街（代表者）	・良い方に変化する要因が見当たらない。
		商店街（理事）	・良くなる材料がなく現状のまま推移する。
		商店街（代表者）	・冬物の動きがそれほど盛り上がりがない。
商店街（代表者）		・周りの商店店主同士の会話からも、景気の低迷気味の話が多い。	
商店街（代表者）		・円高、外交問題など、不透明な部分があり、将来に対する明るい見通しが無い。	
一般小売店〔酒店〕（経営者）		・秋の観光イベント、地元の祭り等で人が動くので期待しているが、売上は変わらず平行線で推移する。	
一般小売店〔酒店〕（経営者）		・地方経済は疲弊しており、客の財布のひもが固くて外食などにお金が回っていない。	
百貨店（営業担当）		・客は何か特徴のあるもの、あるいは今すぐ欲しいものしか購入しない。	
百貨店（販売促進担当）		・先般、駅中へ飲食の集合施設がオープンするなど環境はますます厳しさが強まってきている。10月1日以降は買物袋の有料化も実施されるなど、消費が好転する兆しは感じられない。	
百貨店（売場担当）		・店頭で生活防衛的なシビアな買い方がある一方、まだ高額品のアクセサリや革物が前年をクリアして全体をカバーして推移する。	
百貨店（購買担当）		・秋物の動きがかなり鈍く、気温が数か月後にどのようになるかによって商品の動きは変わり、アパレル関係も物づくりに対してシビアになっている。経済情勢、諸外国との調整によって中国製や韓国製の商品を客は敬遠する。経済情勢や気温を見極めながら販売をしていく。	
百貨店（売場担当）		・今月もあまり良い状態ではなく、衣料部門・雑貨部門・食品部門いずれも苦戦が予想される。コアとなる集客要素が減っていく。	
百貨店（電算担当）		・前年比マイナスは変わらない。今まで当たった催事も減少しており、消費に盛り上がりはない。	
百貨店（販売担当）		・好転する要素がない。	
百貨店（営業推進担当）		・当面の間このような状況は継続する。社会情勢等の変化で悪い方に振れることはありうる。	
スーパー（店長）		・良くなる材料も悪くなる材料も見当たらない。	

スーパー（店長）	・大きな政治の変化など、起爆剤がない限り現状のまま続く。
スーパー（店長）	・地場産業の衰退で節約志向が強い。外部環境の変化はなく景気の回復は見込めない。
スーパー（店長）	・個人消費の回復や上昇になる要因が見当たらない。更に外交悪化や政権与党への不信感が強く、先行き不安感が大きい。
スーパー（店長）	・経済状態が悪化している。
スーパー（総務担当）	・燃料費等価格が不安定で、食費支出も必要外の支出が期待しにくい。
スーパー（業務開発担当）	・競争激化と単価の下落で現在の悪い状況が続く。
スーパー（販売担当）	・客の顔ぶれに変化はなく、買上点数と単価を上げるのは難しい。
コンビニ（エリア担当）	・天候の影響もあるが、7月より来客数は回復している。
コンビニ（エリア担当）	・来客数の減少は回復するかもしれないが、単価ダウンの傾向は続く。
コンビニ（副地域ブロック長）	・競合店出店の影響が少なくなると予想され、年明けにならないと日販前年比の回復は難しい。
衣料品専門店（経営者）	・今後の見通しが全く立たない。
家電量販店（店長）	・デジタル商品の動きは鈍く、小物商品の販売量も増加しない。
家電量販店（店長）	・10月にはウィンドウズ8の発売が予定されておりパソコン関連は伸びが期待できるが、既存の商品群でヒット商品が乏しく大きな変化は見込めない。
家電量販店（販売担当）	・ウィンドウズ8の発売、年末商戦と続くので変わらない。
乗用車販売店（店長）	・今以上に悪くなることは考えにくく、当分この状態が続く。
乗用車販売店（副店長）	・政局が不安定であり、外交問題も山積しており消費が盛り上がっていない感がある。
その他専門店〔ファッション雑貨〕（従業員）	・今後は現状のまま推移し、目立った変動はない。
高級レストラン（スタッフ）	・先の予約状況は昨年と大差はない。
一般レストラン（経営者）	・現状の悪さが続く。政治も混乱しており、将来的に明るい話題がない。
一般レストラン（経営者）	・年末に近づくにつれ、消費は上向き傾向であろうが、昨年と比較し大きく好転しているとは思えない。
一般レストラン（エリア担当）	・来店頻度が減っている状況はまだまだ続く。
一般レストラン（外食事業担当）	・アメリカ産の牛肉の規制緩和があり、利益に貢献するかもしれないが、外食においては量の増加はない。
スナック（経営者）	・景気が回復する事を願っているが、ここどころ回復の兆しが全く見えてこない。政治主導で景気対策をしてもらいたい、全くしている気配がない。
その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	・買い控えが弱くなっただけで、良くなる傾向はみられず、来客数の動きからみて悪くなる様子もない。
観光型ホテル（スタッフ）	・年末に向けての宿泊予約等も引き続き多い。
都市型ホテル（企画担当）	・政府の更なる景気対策を期待する。
タクシー運転手	・客の言動から良くなる材料はない。
通信会社（社員）	・客の問い合わせで新規加入に関することがない。
通信会社（企画担当）	・単価アップでも商品の内容で、選好される傾向は年内続くと思われる。
通信会社（営業担当）	・円高・増税・原発・政局不安等々先行きへの不安感が強く、良くなる要因が見当たらない。
テーマパーク（管理担当）	・日中韓の外交関係、日本の社会情勢ともに良いとは思えない。
テーマパーク（広報担当）	・回復の傾向はみられるが、領土問題などによる国際的な状況も不透明で、海外からの観光客も期待できない。状況が大きく良くなる要素がない。
美容室（経営者）	・良くなる材料がなく、単価をあまり安くすると景気は良くならない。
美容室（経営者）	・秋口から冬にかけて来客数が減少するが、忘年会、年末、正月を迎えるにあたり、髪を切りに来る客は時期的に増える。

	美容室（経営者）	・美容の市場は大きくなったが人口の減少、少子高齢化など、今後気にしないといけない問題が多い。
	その他サービス〔介護サービス〕（介護サービス担当）	・ここ最近身近で景気の変化が全くみられていないことから、今後3、4か月で変化があるとは考えにくい。
	設計事務所（経営者）	・消費税増税を受けて一部には受注を伸ばす企業もあるが、全体的には行き渡らないので、すぐには押上の効果ができにくい。
	設計事務所（経営者）	・公共料金の値上げ、いろいろな税金の値上げ、年金の引き下げなど景気浮揚の材料は見当たらない。全く進まない行財政改革、首相の椅子を投げ出した方の再登板の噂など地方経済の活性化はほど遠い。
	設計事務所（経営者）	・消費税増税に対する意識は高いようだが、駆け込み需要はもう少し先になる。
	住宅販売会社（従業員）	・販売量は若干上向きであるが、内容的にはあまり良い状況とはいえない。金額的には1件当たりの金額は落ちてきており、コストは若干増加傾向にある。
	住宅販売会社（販売担当）	・県内雇用情勢に好転の見込みがなく、安定的な収入の不安感も続くものと思われる。
	住宅販売会社（営業担当）	・変動要素がない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・日本を取り巻く環境、経済、国内景気など、どれをとっても明るさがなく閉塞感がある。政治も混乱し、外交も厳しい局面であり、そういったことを客が敏感に感じ、購買意欲が弱くなっている。
	商店街（代表者）	・領土問題による世情不安など政治・経済含めていい要素がない。
	一般小売店〔茶〕（経営者）	・政情不安・景気の不透明、基本的な愛国精神とともに何か日本の誇りと自信を取り戻す施策が必要である。教育と経済とが一体化していることを認識すべきである。
	一般小売店〔印章〕（経営者）	・会社設立の注文が少なく、活発な動きは期待できない。
	一般小売店〔紙類〕（経営者）	・地元の高齢者の来客数が減少し景気は後退する。
	スーパー（販売担当）	・常連客は来店の間隔が少しずつ空く傾向にある。来客数全体が減少傾向にあることから、景気の先行きは思わしくない。
	スーパー（財務担当）	・競合他社の低価格競争により、1点単価の下落及び買上点数の減少が続く。
	スーパー（管理担当）	・ディスカウント店出店における影響は来客数減少に顕著に表れており、年内更に出店する情報もあることから現状として上向きは難しい。
	スーパー（営業システム担当）	・相変わらず客単価が低い。そのうえ市内のショッピングセンターの改装・増築もあり、先行きは厳しくなる。
	家電量販店（店長）	・12月のボーナスがあり来客数は増えるが、依然として客単価が低迷している。
	家電量販店（企画担当）	・スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末には期待したいものの、低迷から脱出するような所までの期待はできない。このまま緩やかに右肩下がりになっていく。
	乗用車販売店（統括）	・9月までのエコカー補助金需要の反動で大変厳しくなる。
	乗用車販売店（店長）	・エコカー補助金は打ち切り前の駆け込み需要もなく終了した。社会情勢不安から景気後退の雰囲気が出ている。
	乗用車販売店（営業担当）	・エコカー補助金の効果がほとんどなく、静かな決算商戦だったが、補助金が終了した後の冷え込みがかなり予想される。
	その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・近隣国との外交摩擦や政局の不安定さから、先行きの不透明感が消費者心理にも影響を及ぼし生活防衛心理がさらに根強くなる。
	観光型ホテル（支配人）	・年末までの宿泊予約は前年をかなり下回っており、期待していた外国人旅行者も領土問題の影響でキャンセルの可能性が大である。
	都市型ホテル（総支配人）	・関西・九州地区から山陰方面に来る観光客が減少し東京・東北地区へ流れており、この傾向は今後も継続する。
	都市型ホテル（企画担当）	・9月の傾向から良くはならない。
	旅行代理店（経営者）	・中国・韓国と非常に渡航者の多い地区なので問題があればすぐ旅行会社には影響が出ている。
	タクシー運転手	・政変で悪くなる。
タクシー運転手	・半導体大手関連会社のリストラ及び大手百貨店の撤退等良いニュースがない。	
通信会社（通信事業担当）	・見込み客や問い合わせ件数が、極端に減ってきており、新規加入の実績が上がる要素が見当たらない。	

	悪くなる	スーパー（店長）	・通常のスーパーの品ぞろえ価格帯では、ディスカウントストアや大手スーパーマーケットの価格戦略、集客戦略に負けており、まだ、打開策を模索している状況となっている。また、心理的に増税、保険料増は消費心理を抑えこんでいるよううかがえる。
		乗用車販売店（業務担当）	・エコカー補助金の駆け込みも盛り上がりえないまま終了を迎え、今後はさらに悪化する。
		自動車備品販売店（経営者）	・エコカー補助金も終了し、当分、景気の回復は見込めず、良くなる要素も施策も感じられない。ますます落ち込むだけ、景気の良いのは自動車関連の大手企業だけになり、我々の業界でもメーカーだけが空前の利益で、場末の個人販売店は青色吐息で大赤字になる。
		その他専門店 [時計]（経営者）	・住宅や自動車などの大型消費が消費税増税前になされ、当店のような宝飾品販売は低下する。
		その他専門店 [布地]（経営者）	・政治が不安定で明るい話がほとんどなく、景気対策がされないと悪くなる一方である。
		ゴルフ場（営業担当）	・シーズンオフに入る為、予約が落ちる。例年並みの予想をしている。
企業 動向 関連  (中国)	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・現状の多忙が継続する見込みなので良くなる。
	やや良くなる	木材木製品製造業（経理担当）	・年末に向けての需要が高まっている。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・新製品の本格量産が始まり、大型商品のため期待できる。
		建設業（総務担当）	・病院・福祉関係で年度末までは物件の動きがあると予想される。
	変わらない	農林水産業（従業者）	・8月単月で水揚げ数量・金額ともに大幅に減少した。はっきりとした減少原因が分からない。
		食料品製造業（総務担当）	・数値は伸び悩み、販売網の見直し、特に流通はスーパーやデパートといった搬入先の確保を考えないといけない。
		化学工業（総務担当）	・現時点で経済環境が大きく変わる事は考えにくい。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・焼却場の工事案件を一件受注しているが、他に大口の工事案件受注はなく生産量は減少の見込み。そうしたなかで二次加工品分野の受注が堅調でこの部門は好調である。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きから変化はない。
		一般機械器具製造業（経理財務担当）	・国内需要は引き続き低調で、販売量も横ばい傾向である。
		建設業（経営者）	・周辺で大型の事業の撤退で人員削減などの暗い話があり、悪い影響がある。地価も下落し、建設・建築関係について景気が良くなることはない。
		輸送業（支店長）	・会社関係の伸びは若干あるが、集荷の軒先数が減少し、個人集荷は前年並みで推移する。
		金融業（自動車担当）	・新型車の生産は高水準が続くと期待できるが、現在の為替水準では輸出採算が厳しく、収益は現状維持が精一杯となる。
金融業（営業担当）		・外部環境に明るい話が少なく、地元経済を支える中小企業においても積極投資を行う取引先は少ない。中小企業の経営者は景気見通しに悲観的であり、経費削減等の守りの経営を行っている企業が多数である。当地において、景気を刺激するイベント開催の予定もなく、今後3か月先も概ね現況に変化はない。	
不動産業（総務担当）	・需要時期でもあり引き続き推移する。		
会計事務所（職員）	・めぼしい公共工事の予算は、西日本にはあまり無く、復興需要を目当てに受注単価の高い東北地方に出稼ぎに行き出した業者もいる。		
やや悪くなる	食料品製造業（総務担当）	・現在の状況が良い方向に変わる要素がない。	
	鉄鋼業（総務担当）	・自動車のエコカー補助金制度が終了し、中国情勢等が懸念される。	
	非鉄金属製造業（経理担当）	・エコカー補助金終了による反動が懸念される。	
	金属製品製造業（総務担当）	・尖閣問題の早期解決による中国との関係改善が図られなければ、今後の受注活動及び生産活動に大きな支障となる。民間企業レベルでの対応はできないため、この問題が長期化しないことを願う。	
	電気機械器具製造業（総務担当）	・復興特需の影が薄らぎ期待感は半減している。受注はやや減少傾向で、足元は不安定、円高と中国の動向が気になり先行きは不透明である。	
	電気機械器具製造業（総務担当）	・尖閣諸島の問題で、中国の工場が被害を受けており、部材入手が遅れる。	

		輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・受注量が減少し、受注価格も減少している。
		輸送業 (業務担当)	・荷動きも感じるが運搬機器類など会社の設備の代替等を据え置く傾向になってきている。
		輸送業 (総務担当)	・客からの情報で、良くなる要素がない。
		通信業 (営業企画担当)	・製造関連企業での中国情勢による生産・販売の動向について注視しており、提案中案件の進捗について状況を見ながらの検討となる客が発生している。
		通信業 (営業担当)	・中国との領土問題もさることながら政局も混沌として景気へのテコ入れ策もみえない。デフレ状態での消費税増税なども景気減速の1つの要因と考える。
		広告代理店 (営業担当)	・年末までの受注量は例年下降ペースで落ち込む。受注先からの話しも上向きが少ない傾向にある。
		コピーサービス業 (管理担当)	・日中関係の悪化により景気後退の懸念がある。企業業績が悪化すれば経費節約となり印刷物の需要も激減する。
	悪くなる	化学工業 (経営者)	・主要取引先の工場が定期修理期間に入る為受注量が減少し、減収減益見通しである。また近時の中国との領有権問題に端を発した経済への影響が懸念される。
		鉄鋼業 (総務担当)	・世界経済は低迷し、国内においても効果的な景気浮揚策がなされていない。
		その他製造業 [スポーツ用品] (総務担当)	・中国の対日本政策が厳しくなってくることが予測される。
雇用 関連	良くなる	—	—
	やや良くなる	○	○
(中国)	変わらない	人材派遣会社 (社員)	・現時点で上昇、下降とも判断材料がない。
		人材派遣会社 (営業担当)	・製造業からの派遣依頼は横ばいで推移することが予想され、良くなる期待感は見られない。
		人材派遣会社 (支社長)	・求職者の確保が難しくなる。
		求人情報誌製作会社 (広告担当)	・求人数自体の大幅な増加は年末年始に向けて若干ではあるが昨年度の同時期に比べて増えてきている印象はある。ただ、予算を昨年度並み、もしくはそれ以上の費用を使って活動を行う企業が比例して増えていくという実感はない。
		求人情報誌製作会社 (採用支援担当)	・現状では回答が難しい。新卒求人の採用数は増えてきているが、コストは抑えめであり、また採用の目線が非常に上がってきているため、雇用の改善につながるかどうか疑問である。
		職業安定所 (雇用開発担当)	・新規の求職者は、この3か月は横ばい状態で解雇者の数も3か月変化がない。雇用保険取得者も前年同月比で1けたの微増となっている。
		職業安定所 (産業雇用情報担当)	・好転的な要素が見つからないので、このまま状況は変わらない。
		民間職業紹介機関 (職員)	・採用意欲は若干上向いているように思えるも緊迫した外交情勢を鑑みると、輸出産業で成り立つ地場経済への影響は円高と併せ深刻であり予断を許さない。
		学校 [短期大学] (学生支援担当)	・大きく変わる要素が見受けられない。
		その他雇用の動向を把握できる者 [労働機関] (職員)	・来春の新規学卒求人は件数こそ前年を上回ったが募集人数が絞られており、全体では低調に推移した。新たな企業誘致に関わって大量採用の話も複数あるが、来年・再来年のことであり、今現在の求人には結び付かないでいる。
	やや悪くなる	新聞社 [求人広告] (担当者)	・消費動向も依然として鈍く、多くの事業所は行き詰まり感が強い。
		新聞社 [求人広告] (担当者)	・海外経済の減速で、輸出企業の生産水準が低下している。自動車のエコカー補助金の終了後の反動減も予想され、景気の先行き不透明感が強まっている。
		職業安定所 (産業雇用情報担当)	・有効求人倍率は1倍を超えているが、管内事業所の閉鎖情報もあり、段々悪化していく。
		民間職業紹介機関 (人材紹介担当)	・日中関係の問題から波及される経済上の影響から鑑みて、観光分野やメーカー輸出分野の売上が落ち込む。
	悪くなる	—	—